JFMA FORUM 2020

公共FMシンポジウム 【公共FMバトル】

2020年(令和2年)02月20日(木)

一般財団法人 建築保全センター 保全技術研究所第三研究部 次長 公共建築マネジメント研究センター主任研究員

池澤 龍三

#### いま公共施設マネジメントの世界にあふれる様々なキーワード

公共施設等総合管理計画

個別施設計画

再配置計画

中長期保全計画

集約化•複合化

長寿命化

立地適正化計画

コンパクトシティ

まちづくり

賑わい・交流人口増

住民合意

PPP • PF I

- ■解決しなければならない課題は2つ=質と量
- ■思考ポイントは3つ=品質・財務・機能
- ■重要な力は2つ=危険回避力と引継ぐ力

■解決しなければならない課題は2つ=質と量

■思考ポイントは3つ=品質・財務・機能

■重要な力は2つ=危険回避力と引継ぐ力

## 公共施設等総合管理計画に続く 【個別施設計画】の姿

#### 質と量 スマートにシンプルに思考する

問題点① : 老朽化していること

・ いわゆる、「質」(品質)の問題

公共施設等総合管理計画上は、 「長寿命化計画」策定としたが・・・

長寿命化改修工事にも、予防保全にも、 一定のお金が必要!!(財務)

> (根本的な課題解決) 現実的な安全の確保

問題点② : 沢山持っていること

いわゆる、「量」(機能)の問題

公共施設等総合管理計画上は、 「再配置計画 | 策定としたが・・・

集約化工事にも、複合化改修にも、 一定のお金が必要!!(財務)

(根本的な課題解決) 施設に係るトータルコストの削減

時間軸待ったなし

個別施設計画

両方を考える 必要がある

個別施設計画

時間軸 長期戦

解決しなければならない課題は2つ=質と量

思考ポイントは3つ=品質・財務・機能

■重要な力は2つ=危険回避力と引継ぐ力

# 今後の公共施設のあり方を考える際 建物の耐用年数(法定耐用年数以外)

- ■物理的耐用年数(品質)
- ■経済的耐用年数(財務)
- ■機能的耐用年数(機能)

#### 組織論から考える

公共施設マネジメント (BM・FM・AM) と組織の関係

担い手 Βシ 既定路線 品質 年間スケジュール管理体制 施設 BM管理者 (現実的フロー) 1-2)暫定対策体制 (理想的フロー) 営繕課 (戦略) 安全確保 事前相談体制 (状態監視・時間計画保全) 1-3)機能 FM主管課 1-4) 実行支援体制 (戦略) トータル コスト 営繕課 (理想的フロー) 削減 企画課 2-1) 全庁棚卸体制 財政課 財務 行革課 AM2-2) マネジメントシート作成体制 マネジ 2-3) モデル事業推進体制 メント 推進課 2-4) オーソライズ体制 各施設評価 再配置案 (どう進めるか) 地域将来像 【再配置(再整備)案作成のプロセスフロー】

解決しなければならない課題は2つ=質と量

■思考ポイントは3つ=品質・財務・機能

■重要な力は2つ=危険回避力と引継ぐ力

そもそも理解しておかなければならない、 公共施設マネジメントの前提条件

公共施設マネジメントの担い手は、

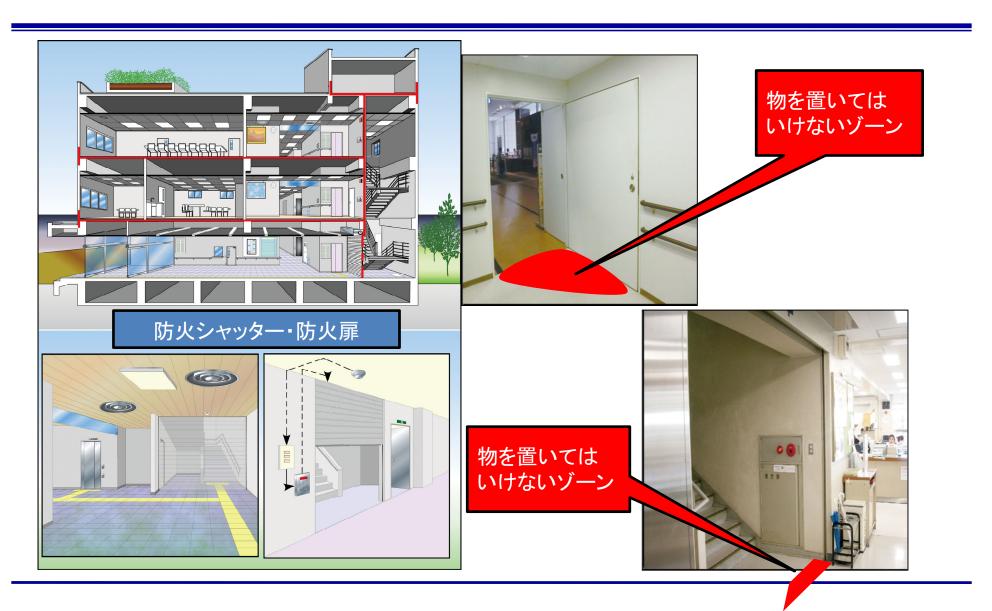
事務職の方々が大半 かつ 短期間で異動

#### これから地方自治体に求められる力

## 問題提起の思考回路から具体的な問題解決の思考回路へ

- ▶ 交通インフラ、土木インフラに学ぶ
  - → → 危険回避力(直観力)
- ▶ 予防医学に学ぶ(日常的CKと定期健康診断、電子カルテと遠隔診断等)
  - → → 引継ぐ力(情報力・データベース)

## 土木・交通インフラの考え方に学ぶ



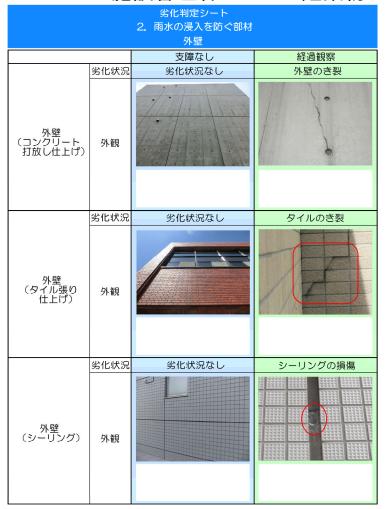
#### 建築物の各部について、支障がある状態とはどのような状態のことか

## 劣化判定シート

具体的な写真で説明

ICTとAIを活用したFMフォトグラファー

#### 「施設管理者のための建築物の簡易な劣化判定ハンドブック」より

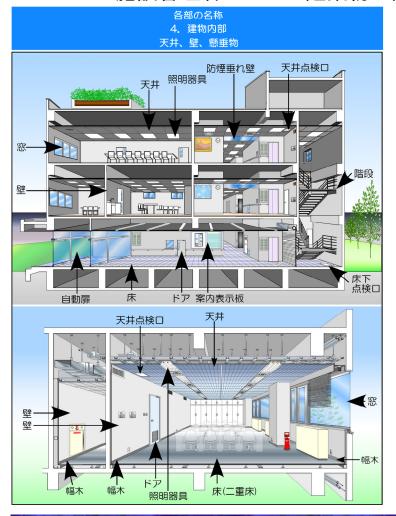




## 建築編

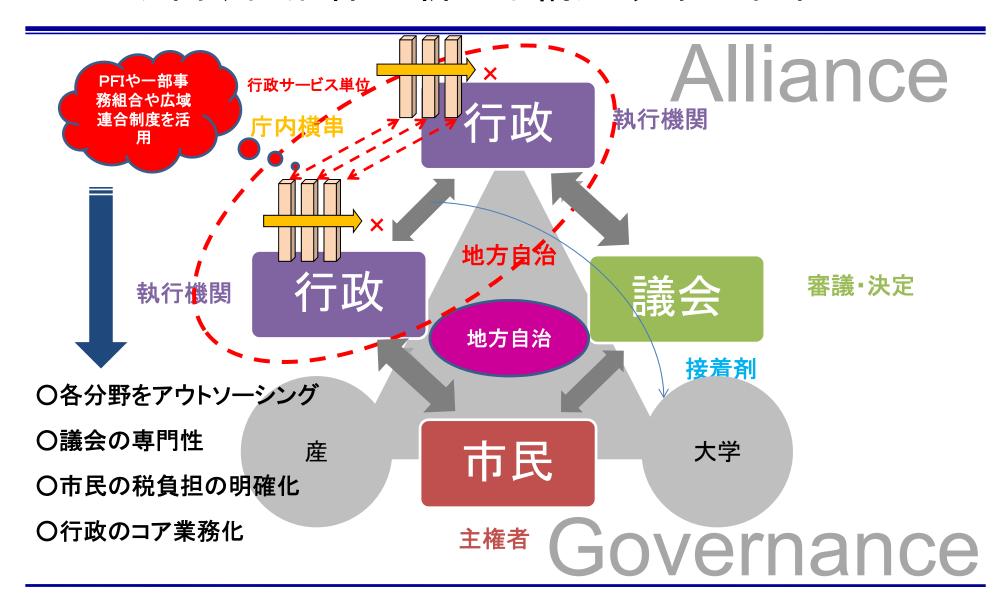
#### 建築物の各部について、図と写真を用いて、具体的にわかりやすく説明

#### 「施設管理者のための建築物の簡易な劣化判定ハンドブック」より





## 2020以降、自治体の新たな構造改革の仕組み



## (案)学校管理広域FM連合→働き方改革からFMを推進する

## ➡学校職員室改革



フリーアドレス職員室の全体イメージ (教職員図書コーナー)



セパレートタイプの会議イメージ



発表イメージ



ブースイメージ



セキュリティを確保した 個室イメージ (別室)



どうぜやるなら、明るく、元気に

ご清聴いただきまして、誠にありがとうございました



◆ お問合せ・ご感想 ◆

一般財団法人 建築保全センター

東京都中央区新川1-24-8

TEL: 03-3553-0070

FAX: 03-3553-6767

E-mail: ikezawa@bmmc.or.jp



